



Title	未来共創 9号 編集後記
Author(s)	
Citation	未来共創. 2022, 9, p. 335-335
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/88565
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

原稿募集期間が始まって以降、私たちは執筆者や査読者の間で何かしら連絡を待ち続けてきました。待つ人は常に期待と不安の間で揺れ動きます。しかし私たちは幸いです。私たちの不安のほとんどは杞憂であり、現実には私たちの期待をはるかに超えてきます。精魂込めて執筆された原稿や考え抜かれた査読コメントが私たちのメールボックスを通過していき、最後には見違えるようによくなった完成稿に結実します。その過程に立ち会える喜びは大きいものです。もちろん様々な事情から不本意な結果となってしまうこともありました。しかし先生方からの査読コメントはきっと投稿者の今後の飛躍を助けてくれるはずです。すべての投稿者・寄稿者と査読者に感謝と今後の活躍への期待を申し上げます。

『未来共創』第9号には論文4本、特集論文4本、研究ノート2本、報告2本、書評5本、エッセイ1本、そして研究科長として人間科学研究科を牽引されてきた白井伸之介先生による「人間科学部の創立50周年にあたって」というご挨拶が掲載されています。本号も「共生」や「共創」に関連する様々な分野の方々の原稿を掲載することができました。特集「教育と格差」への共創的アプローチには国際法学、国際協力学、教育社会学、教育制度学の分野から4本の論文をご寄稿いただきました。この特集はセンターで開催した研究会の報告となっています。様々な分野の「教育と格差」に関心のある教員、学生が参加し、毎回熱のこもった議論となりました。執筆いただいた先生方、そして研究会に参加していただいた皆様に感謝申し上げます。

今年度も新型コロナウイルス感染症のパンデミックは収束することなく続き、私たちの生活や研究は大きく制限される事になりました。本号に収録した原稿でも、新型コロナウイルス感染症のパンデミックの影響について論じていることが多いです。そしてウクライナで危機的な戦争が進行している現在、今後私たちを待ち受けるものはパンデミック以前の生活とはかけ離れたものになっていくかもしれません。本ジャーナルに記された共創知が困難を乗り越えて未来を開くヒントになれば幸いです。

本誌がこのように美しく読みやすいのは校正、DTP作業をお願いしているレカボラ編集舎の小野寺佑紀さんのおかげです。今回もありがとうございます。そして読者のあなたにも、読んでいただきありがとうございます。ご縁があれば、今度は執筆者として共に未来を創っていきませんか。

大阪大学大学院人間科学研究科附属未来共創センター・特任研究員
織田和明

発行 2022年3月31日
大阪大学人間科学研究科附属未来共創センター
〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-2

編集協力
レカボラ編集舎 小野寺佑紀
デザイン 有限会社ブックポケット